

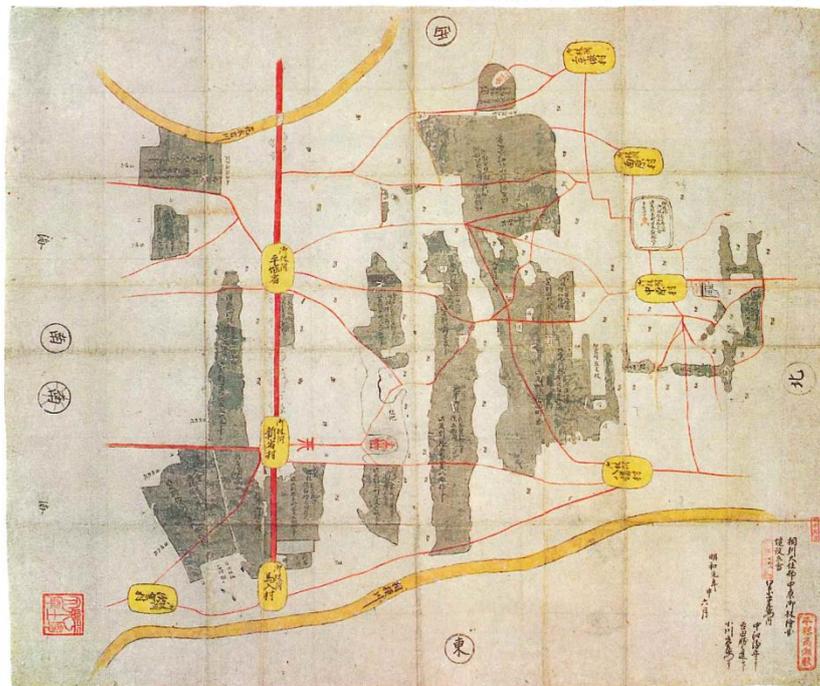
『平塚市史4』 資料編 近世(3)

資料編 近世は、全3巻からなります。現在の市域の成り立ちや市域に現存する文書を中心とし、さらに市域外現存文書や、今は伝わらないが既に活字化したもので市域に関連する文書を記載しています。

近世(3)では、当時の平塚の交通・水利・寺社など私たちの生活に関連の深い資料を多数収録しました。

市域の置かれた自然条件、あるいは政治・経済、そして社会条件等によって形成される幾つかの生活を対象とし、その結果、交通・運輸、水利、寺社、中原御林、報徳仕法、学芸、生活等に関する資料256点を項目別に編年でまとめています。

明和元年(一七六四)六月 相州大住郡中原御林絵図
95cm×80cm 平塚郷土文庫
御林付八か村と御林一六か所が描かれている。また宿・村内の道(朱線部分)の様子もよくわかる。



—掲載内容—

- 1 宿駅と村の交通・運輸……平塚宿と助郷の村
大磯宿と助郷の村
平塚宿と大磯宿
船運
- 2 村と水利……………金目川
田村用水
鈴川・五か村用水
大根川その他

- 3 村々の寺社……………朱印地と除地
 - 南金目村光明寺
 - 平塚新宿八幡宮
 - 大神村真芳寺
 - 長持村浄信寺
 - 真田村天徳寺・天王社
 - 広川村善福寺
 - 片岡村雷電宮
 - 土屋村芳盛寺
 - 徳延村明王院
 - 松延村宗源寺
 - その他
- 4 中原の御林
- 5 報徳仕法……………片岡村仕法
 - 南金目村兵左衛門仕法
- 6 学芸
- 7 生活の中から、その他

付録 近世平塚と近在市場の相場 ―相場帳と石代納値段―